

- 放射性セシウムは時間とともに体外に排出される。
- 現在、実施しているホールボディカウンタ検査については、日常的な経口摂取の影響について調べている。
- 1ミリシーベルト以上の数値が測定される原因は、ほぼ**食品由来**と考えられる。

Q. もし1ミリシーベルト以上の数値が検出されたら？

- A. 市場には流通していない放射性セシウム濃度の非常に高い食品類を多く摂取した可能性がある。
(例)野生のキノコ、山菜類、野生鳥獣(イノシシ、クマ等)の肉等

放射性セシウムは時間とともに体外に排出されるため、震災直後に摂取した放射性セシウムは、大方体外に排出されています。現在、実施しているホールボディカウンタ検査では、日常的な経口摂取の影響について調べられています。内部被ばく線量として、1ミリシーベルト以上の数値が測定される原因は、ほぼ食品由来と考えられます。現在、市場に流通している食品を食べている限り、内部被ばく線量は、1ミリシーベルトを超えることはありませんので、もし1ミリシーベルトを超えた場合は、市場には流通していない放射性セシウム濃度の高い食品類を多く摂取した可能性があります。中でも野生のキノコが要因と考えられるケースが報告されています。

本資料への収録日：2013年3月31日

関連 Q&A

- ・ 1章 QA40 放射性物質で汚染された食べ物のことが報道されていますが、野菜などを食べる際に気をつけることはありますか
- ・ 1章 QA42 お店で売っている魚や肉は食べても大丈夫ですか
- ・ 1章 QA43 放射性物質で汚染されている水産物が市場に流通しているのではないですか
- ・ 4章 QA1 食べものの安全はどのように確保されているのですか
- ・ 4章 QA3 農林水産物の安全性を確保するためにどのような取組がとられているのですか
- ・ 4章 QA4 介入線量レベルを年間1ミリシーベルトに設定した理由を教えてください